

屋外設置形 (BL認定品)

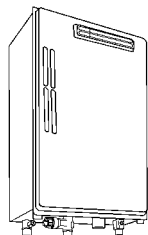
ガス給湯器

品名

133-8150型	133-8140型	133-8130型
133-8152型	133-8142型	133-8132型
133-8154型	133-8144型	133-8134型
133-8155型	133-8145型	133-8135型

型式名

GS-164W	GS-204W-OG	GS-244W
GS-164T	GS-204T-OG	GS-244T
GS-164Y	GS-204Y-OG	GS-244Y
GS-164B	GS-204B-OG	GS-244B



このたびは給湯器をお買い上げいただき
ましてありがとうございます。

ご使用になる前に必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、
十分に理解したうえで正しくご使用ください。

この給湯器には保証書が付いています。

この取扱説明書は、いつでもご覧になれる身近なところへ
大切に保管してください。

取扱説明書を紛失された場合は、お買い上げの販売店または、
最寄りの大阪ガスへご連絡ください。

その際、機器本体の銘板をご覧のうえ、品名・製造年月をお知
らせください。

取扱説明書



☆この製品の特長	1
☆安全に正しくお使いいただくために	1
☆必ずお守りください	2
☆各部の名称とはたらき	6
☆ご利用前の準備	9
☆お湯を使うには(リモコンなしで使う)	9
☆お湯を使うには(別売品のリモコンを使う)	10
133-0055、0057型をお使いの場合	
☆浴槽にお湯張りをするには	12
湯量おしらせ機能を使ってお湯張りする	12
湯量(お湯張り量)の設定	13
☆浴室から人を呼ぶ(呼び出しスイッチ)	14
☆チャイムや音声ガイドの音量を調節する	14
133-0058型をお使いの場合	
☆浴槽にお湯張りをするには	15
お湯張り機能を使ってお湯張りする	15
お湯張り温度・お湯張り量の設定	17
☆故障かな?と思ったら	18
お湯の出かた	18
機器本体	19
リモコン	19
リモコンにアラーム番号が出たとき	20
☆冬期の凍結予防をするには	21
☆点検ポイント・お手入れのしかた	23
☆アフターサービスについて	24
☆仕様一覧	25

お使いいただくまえに

使いかた

故障かな?と思ったら長くお使いいただくための

大阪ガス株式会社

お問い合わせ先
別添 大阪ガスのお問い合わせ先
をご参照願います。

お願い ガスくさいときは、ガス栓を閉じ窓を全開にして、(火気に注意して)
大阪ガスに連絡してください。

WQ4007

この製品の特長

快適な「お湯のある暮らし」のために便利な機能を揃えました。どうぞお役立てください。

- お使いになる湯温や、湯量に応じてガス量を自動調節します。
- 冬期、気温が下がると自動的に作動し、凍結を予防するヒーターが組み込まれています。
- 別売の浴室リモコン・台所リモコン・増設リモコンを取り付けているお宅では、給湯温度の設定ができます。
- 湯量おしらせ機能
別売の台所リモコン（138-0055型）、増設リモコン（138-0057型）を取り付けているお宅では、浴槽へお湯張りするときに便利な湯量おしらせブザーが付いています。
- お湯張り機能
別売の台所リモコン（138-0058型）を取り付けているお宅では、浴槽へお湯張りするときに便利な自動止水のお湯張り機能が付いています。

安全に正しくお使いいただくために

■この取扱説明書の表示について■

この取扱説明書では、機器を正しくお使いいただき万一の事故を未然に防ぐため、以下のような表示で注意を呼びかけています。

危険 この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者等が死亡または重傷を負う危険、または火災の危険性が切迫して生じることが想定される内容を示しています。

警告 この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者等が死亡または重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。

注意 この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者等が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



お願い ご使用になるときに、よく理解していただきたい内容を示しています。

(→P. XX参照) 参照ページを示しています。

必ずお守りください (安全上の注意)

安全に正しくお使いいただくために、この内容は必ずお読みください。

危険

屋内設置の禁止

- この機器は屋外設置形ですので絶対に屋内に設置しない。燃焼ガスが室内に充満したり、正常な給排気が出来ないため異常燃焼し、酸欠や一酸化炭素中毒の原因になります。

ガス漏れ時の処置

- ガス漏れに気づいたときは、機器の使用を中止し、ガス栓を閉じてからお買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスに連絡する。
- ①給湯栓を全て閉じる。 ②ガス栓を閉じる。
- 全ての処置が終わるまでの間、絶対に火をつけたり電気器具（換気扇その他）のスイッチの入・切や電源プラグの抜き差し、および周辺の電話を使用しない。炎や火花で引火し、火災のおそれがあります。



警告

機器設置 (および付帯工事)

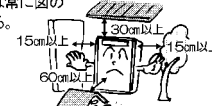
- この機器は屋外設置形ですので、増改築などによって屋内状態にしない。不完全燃焼による一酸化炭素中毒や火災のおそれがあります。



- 機器の設置・移動および付帯工事は、お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへ依頼し、安全な位置に正しく設置する。設置工事に不備があると事故の原因になります。

火災予防のために必ず守ること

- 機器周辺のものとは常に図の離隔距離を確保する。



- 機器および排気口の周囲に紙や木材など燃えやすいものを置かない。火災の原因となります。
- 機器の周囲でハガリン、ペンジン、スプレーなど引火性危険物を使用しない。引火して火災を起こすおそれがあります。
- 機器の周辺や上にスプレー缶、カセットコンロ用ボンベを置かない。熱でスプレー缶の圧力が上がり爆発のおそれがあります。
- 排気口は洗濯物などでおおわない。不完全燃焼の原因となります。

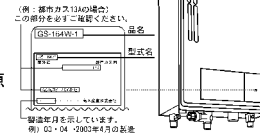


使用ガス、使用電源について

- 機器銘板（機器前面に貼付）に表示してあるガス種（ガスグループ）および電源（電圧・周波数）で機器を使用してください。ガスおよび電源が一致しないと不完全燃焼による一酸化炭素中毒になったり、爆発着火でやけどをしたり、機器が故障する場合があります。
- 転居時の注意は（→P. 24参照）



ガス種・電源を確認



困り禁止

- 設置後、機器や排気口を波板やビニールなどで囲わない。不完全燃焼による、一酸化炭素中毒や火災のおそれがあります。

給排気口の周囲

- 給排気口の前方にものを置かない。不完全燃焼による一酸化炭素中毒や火災のおそれがあります。

機器本体に無理な力を加えない

- 機器本体やガスの接続部などに乗らない。けがや機器の変形による故障のおそれがあります。

分解禁止

- お買い上げの販売店、または大阪ガス以外の人による分解、修理・改造は行わない。異常作動して事故の原因となります。



地震、火災などの緊急の場合

- 迅速に使用を中止し、ガス栓を閉じる。

必ずお守りください

警告

給湯・シャワー使用時の注意

- ①シャワーなどお湯を使う場合は最初にお湯が出るので注意。手のひらで温度を確かめて湯温が安定してからお使いください。
- ②給湯使用時は出湯管（蛇口）が熱くなるので、やけどに注意する。
- ③お湯を止めた後に再使用する時、お湯の量を急に少なくしたとき、給水圧が下がるとき、あるいは万一機器が故障した場合、一瞬熱いお湯が出る場合があります。手のひらで温度を確かめて湯温が安定してからお使いください。
- ④シャワー、給湯の使用中は、使用者以外はお湯の温度を変更しない。突然、熱湯や冷水が出て思わぬ事故につながる場合があります。



お子様には十分な注意を

- 浴槽にお湯張りしているときに、お子様を浴室で遊ばせない。思わぬ事故につながる場合があります。



注意

電気事故防止

- 電源コードを加工したり無理な力を加えない。感電、ショートや発火による火災のおそれがあります。
- 傷んだプラグ、コードは使わない。差込みがゆるいと感電や火災の原因になります。
- 濡れた手で電源プラグをさわらない。感電のおそれがあります。
- 電源プラグのほこりは拭き取る。発火の原因になります。
- コンセントから電源プラグを抜くときは、プラグを持って抜く。コードを引っ張ると内部で断線して発熱や発火の原因になります。
- この機器は接地工事（アース）が必要なので、アースがされているか確認する。



異常時の処置について

- ①給湯栓を開けても点火しない場合、また、使用中で火が消える場合はただちに使用を中止してガス栓を閉じる。
- ②本書の「故障かな?と思ったら」(P.18~P.20)に従って処置をする。
- ③上記の処置をしても直らない場合、または、使用中に異常な燃焼や臭気、異常音、異常な温度を感じた場合は、使用を中止してお買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへ連絡する。



機器本体でのやけどに注意

- 機器の使用中止または使用後はしばらくは、排気口とその周辺部に絶対に手を触れない。高温になっていますのでやけどのおそれがあります。特に小さなお子様のおられるご家庭ではご注意ください。



ガス接続について

- この機器のガス管の接続おねじ接続です。接続はお買い上げの販売店または、大阪ガスが行いますので、お買い上げの販売店または、最寄りの大阪ガスへご相談ください。

用途についての注意

- 一般家庭での台所・シャワー・洗面・浴槽へのお湯張りなどの給湯以外の用途には使用しない。思わぬ事故につながる場合があります。
- 車両・船舶への搭載はしない。振動により機器が転倒し、火災や機器故障の原因になります。

本体周辺の防火措置

- 本体の周辺は整理してください。

長期間使用しない場合

- 長期間使用しないときは、ガスの元栓を閉じてください。
- ### ソーラーシステムと接続する場合
- ソーラーシステムと接続する場合は、出湯温度が設定温度よりも高くなる場合がありますので、必ずサーモスタート付混合水栓を使用し、手で温度を確認してからご使用ください。
 - 別売リモコンを設置する場合は、ソーラーシステムと接続できません。

お願い

電源プラグを抜かない

- お手入れの際、長期間使用しない場合、および凍結防止のために水抜きを行うとき以外は、電源プラグを抜かないでください。

断水のとき

- 断水のときは、給湯栓を閉じ、リモコンの運転スイッチを切ってください。

乾電池に関する注意

- 機器を取り替えた場合、旧機器は専門の業者に処理を依頼してください。もし、お客様で旧機器の処理をされる場合、乾電池を使用している機器は乾電池を取り外してから正規の処理をしてください。

雷が鳴ったあと機器が作動しないとき

- 落雷の際に、雷による一時的な過電流で安全装置（電流ヒューズ）等が作動していることが考えられます。お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへご連絡ください。

停電時または電源プラグを抜いたとき

- この機器は、停電時や電源プラグを抜いたときは使用できません。
- 停電時は給湯栓を閉じてください。
- 再通電したときは、リモコンの設定（給湯温度・湯量など）を行い、表示を確認したあとご使用ください。



飲用にお使いのときは

- 機器内に長時間たまった水（たとえば朝一番の使い始めのぬるい湯が出るまで）は、飲まないで雑用水としてお使いください。



長期間使用しないときは

- この取扱説明書P.21の「機器の水を抜く方法」に従って、水抜きを行ってください。水が長いあいだ流れないと、一瞬濁ったお湯が出たり、冬場に凍結する場合があります。



この機器は一般家庭用です

- 業務用のような使いかたをされると、機器の寿命を著しく縮めます。この場合の修理は保証期間内でも有料となります。

リモコンの扱いについて

- 台所リモコンは水をかけないでください。浴室リモコン、増設リモコンは防水タイプですが故意に水をかけないでください。
- リモコンはお子様がいらずにしないよう注意してください。



ガス事故防止のために

- 使用時の点火、使用後の消火のほか、使用中も正常に燃焼していることをリモコンの燃焼表示で確認してください。

凍結についての注意

- 凍結のおそれがあるときは、この取扱説明書のP.21「冬の凍結予防をするには」に従って処置してください。おこたると機器内の水が凍って機器が破損することがあります。

凍結したとき

- 凍結したままでは絶対に使用しないでください。
- 機器や配管が損傷した場合、高額の修理費がかかります。（有料）
- 凍結が溶けたあと再使用するときは、すべての給湯栓から水が出ることを確認後、P.22「再使用する時」の項以下の操作を行ってください。

通水使用の禁止

- 運転スイッチを切った状態で給湯栓を開けて水を出したり、シャワーを浴びないでください。機器の寿命を著しく短くします。

大阪ガス株式会社

必ずお守りください

お願い

日常の点検・お手入れ

- 安全にお使いいただくために、点検・お手入れは月1回程度必ず行ってください。(詳しくはP.23をご覧ください)。
- 故障または破損したと思われるときは使用しないでください。このときご家庭で修理せず、お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへご連絡ください。
- 浴槽や洗面台が、水中の微量の銅イオンと脂肪分(湯アカ)により青く着色することがあります。日々、浴槽や洗面台のお手入れをするとともに、万一着色した場合はクレンザーやアンモニア水(10%程度)等で拭き取ってください。

市販の補助用具について

- 事故防止のため、この機器の純正部品以外は使用しないでください。
- 水圧の低い地域では泡沫水栓を使用しないでください。
- やけど対策上、サーモスタット付混合水栓の使用をお勧めします。
- 混合水栓にはさまざまな種類があります。使用方法は、混合水栓の取扱説明書をご覧ください。

お願い 設置する場所や状況について

設置場所について

- 設置場所をお決めになるときは近隣の家が運転音(燃焼音、燃焼用送風機の音)で迷惑にならない場所に設置してください(工事担当者にご相談ください)。
- 足場などを組んだり、ハンゴ、脚立を使わなければメンテナンスができない高所などに設置しないでください。メンテナンスをお断りすることがあります。

給排気について

- 機器は給気・排気が十分できる場所に設置してください。給排気が不十分な場所に設置すると不完全燃焼の原因となります。

排気ガス

- 排気ガスが直接建物の外壁やアルミサッシなどに当たらないよう施工してください。外壁が変色したりアルミサッシが腐食したりするおそれがあります。
- 排気口の周囲には、排気口からの排気ガスによって加熱されて困るもの(危険物・植物・ペットなど)を置かないでください。



禁止



地下水や温泉水、井戸水の注意

- この機器は上水道用です。水質によっては、機器内の配管内部に異物が付着するなど、耐久性を損なう場合や、機器が正しく作動しないことがあります。この場合、保証期間内でも有料修理となります。

ほこり

- 砂や油煙、ペットの毛など、ほこりのたちやすい場所には設置しないでください。ほこりが給気口をふさいで、燃焼用の送風機の性能を低下させ、不完全燃焼の原因となります。



禁止



塩害

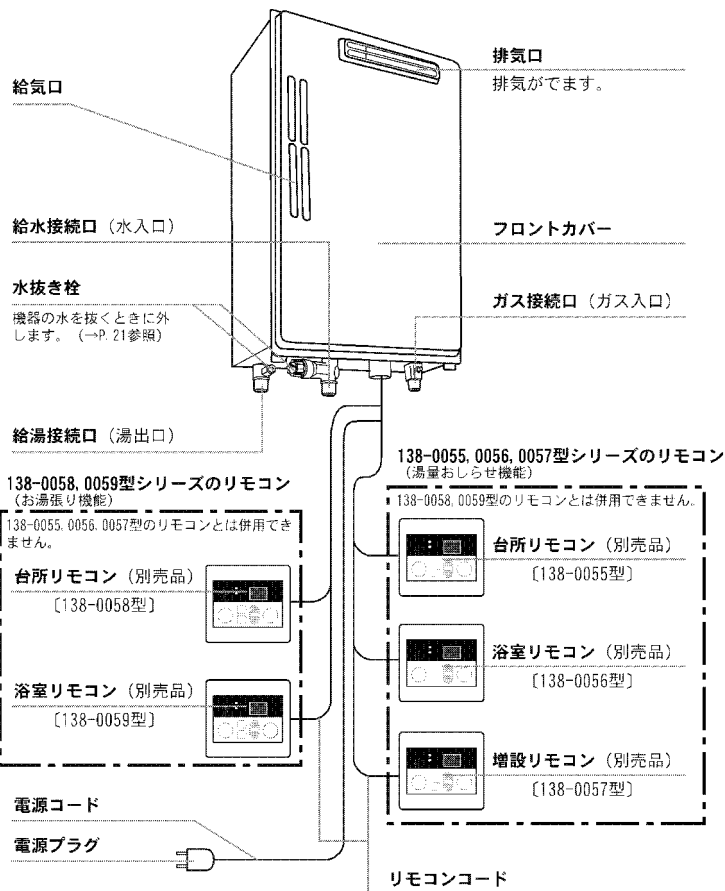
- 海岸近くに設置するときは、潮風にさらされる場所を避けてください。機器が腐食し、故障の原因となります。

塩ビ管の使用について

- 給水・給湯配管に塩ビ管を使わないでください。機器の使用直後に熱交換器の後沸きにより塩ビ管が破裂し、熱湯がふき出したり、多量の水漏れの原因となります。

各部の名称とはたらき

■機器本体

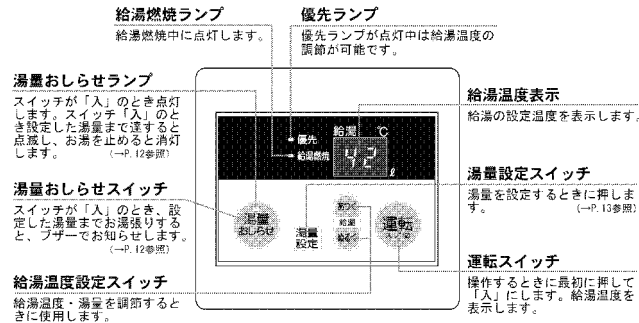


必ずお守りください

各部の名称とはたらき

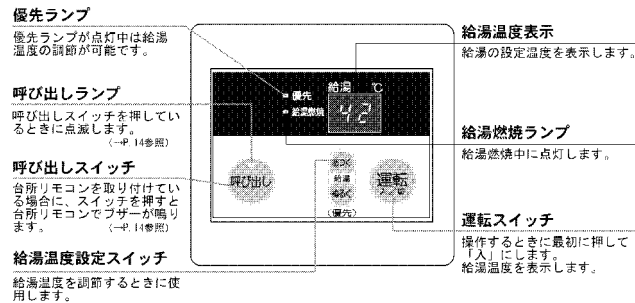
■ 台所リモコン [138-0055型] (別売品)

(台所リモコン[138-0058型]、浴室リモコン[138-0059型]との併用はできません。)



■ 浴室リモコン [138-0056型] (別売品)

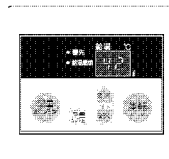
(台所リモコン[138-0058型]、浴室リモコン[138-0059型]との併用はできません。)



■ 増設リモコン [138-0057型] (別売品)

(台所リモコン[138-0058型]または、浴室リモコン[138-0059型]との併用はできません。)

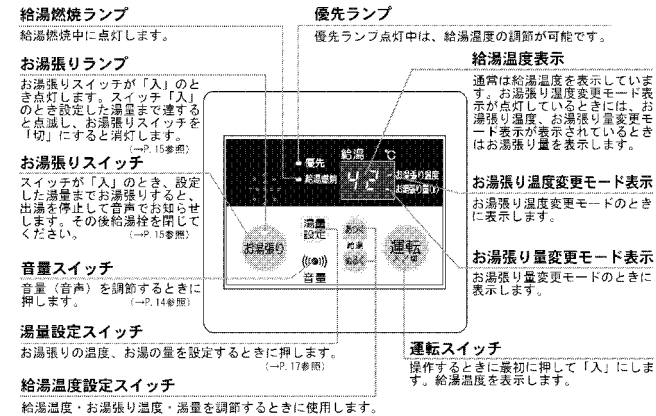
- 台所、浴室以外の部屋から運転スイッチの「入」/「切」や、給湯温度、湯量の設定が調節できます。
- 各部の名称とはたらき、使用法は台所リモコン(138-0055型)と同じです。
- 台所リモコンは防水タイプではありませんが、増設リモコンは防水タイプです。



台所リモコン(138-0058型)、浴室リモコン(138-0059型)を取付けている場合は、お湯張り機能(自動止水)が使用できません。

■ 台所リモコン [138-0058型] (別売品)

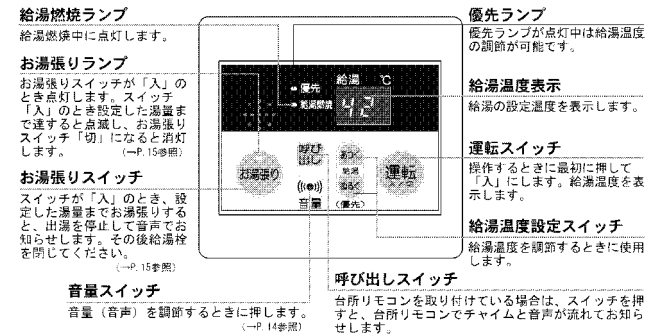
(台所リモコン[138-0055型]、浴室リモコン[138-0056型]、増設リモコン[138-0057型]との併用はできません。)



■ 浴室リモコン [138-0059型] (別売品)

(台所リモコン[138-0055型]、浴室リモコン[138-0056型]、増設リモコン[138-0057型]との併用はできません。)

浴室リモコン[138-0059型]は、お湯張り温度、お湯張り量の設定が固定となりますので、台所リモコン[138-0058型]と併用してください。



台所リモコン

ご利用前の準備

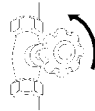
はじめてお使いになるときは、まず屋外にある機器の準備をします。

1 機器や機器周辺の点検・確認を行います

この取扱説明書のP.23の内容に従って、点検・確認を行います。

2 給水元栓を全開にします

機器の下にあります。



3 給湯栓を開けます。

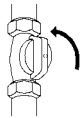
水が出ることを確認して、



給湯栓を閉じます。

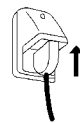
4 ガス栓を全開にします

機器の下にあります。



5 電源プラグを差し込みます

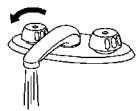
コンセントは機器周辺部にあります。



お湯を使うには (リモコンなしで使う)

給湯栓を開けば、お湯が出ます。お湯の温度は約60°Cの高温(一定)になります。必ず混合水栓をお使いください。

1 給湯栓を開けてお湯を出します



2 水を混ぜて温度を調節します。使い終わったら給湯栓・給水栓を閉じてお湯を止めます。



警告 ●給湯、シャワー等を使うときは、給湯温度を確認し、手で温度確かめてから使う。やけどのおそれがあります。

ME ●やけどを防ぐため、サーモスタット付混合水栓の使用をお勧めします。

お湯を使うには (別売品のリモコンを使う)

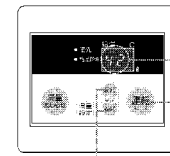
おふろのシャワーや上がり湯のほか、台所や洗面所などで使う給湯の操作について説明します。給湯は別売品の台所リモコン、浴室リモコンからも操作できます。

台所リモコン
[138-0055型]

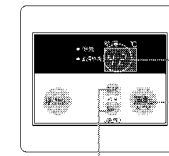
浴室リモコン
[138-0056型]

台所リモコン
[138-0058型]

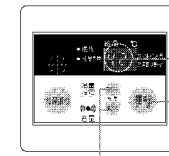
浴室リモコン
[138-0059型]



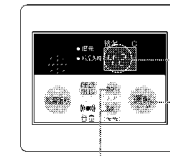
2 1



2 1



2 1



2 1

1 運転スイッチを「入」にします

運転スイッチを押します。



表示



給湯温度

※図は、138-0055型を示しますが、各リモコンとも同じ操作方法です。

運転「入」になると給湯温度を表示します。

2 給湯温度を調節します

温度が上がります

温度が下がります

給湯温度は以下の10段階から選べます。

37 38 39 40 41 42 43 44
45 46 47 50 55 60 70 75 °C

やけど防止のため、給湯温度を70°C以上に設定するときは、スイッチを長押し(2秒以上)しないと温度が上がれません。他の場所でお湯が使われていないことを確認のうえ、温度を上げてください。

工場出荷時には42°Cに設定されています。

3 給湯栓を開けてお湯を出し、使い終わったら閉じます。



給湯燃焼ランプが点灯します。

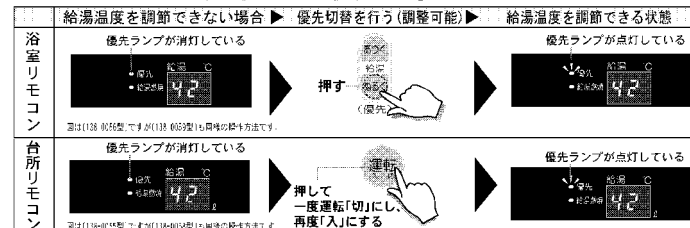


給湯燃焼ランプが消灯します。ただし、他の給湯栓でお湯が使われているときは消灯しません。

使いかた

給湯温度を調節できない場合、以下の操作をしてください。

■優先切替について 給湯温度が調節できるリモコンを「優先」と呼び、リモコンのどちらか一方を優先にできます。また、優先を切替えることを「優先切替」といいます。



お湯を使うには (別売品のリモコンを使う)

お湯を使うときの注意

- 警告**
- 給湯、シャワー等を使うときは、給湯温度を確認し、手で温度を確かめてから使う。やけどのおそれがあります。
 - シャワー使用中に優先を切替えない。台所リモコンで給湯温度調節を行うと、シャワーの温度が急変し、危険です。必ず、浴室リモコンを優先にして、給湯温度を確認してから使用してください。

ご注意ください

- 給湯栓を閉じても機器の燃焼用ファンモーターがしばらく回転しますが、故障ではありません。

お願い

- 表示している温度と給湯栓から出る湯温は、配管の長さや外気温等により必ずしも一致しません。表示温度は目安としてお考えください。
- 使いはじめは給湯配管の水が流れ出るまでしばらくお湯が出ません(配管の長さによりお湯が出るまでの時間が異なります)。
- 給湯栓をしぼり過ぎると、熱いお湯が出たり、燃焼が停止して水になることがあります。
- 水温が30°C近くなる夏期では、低温にセットしても給湯栓の湯量が少なく給湯温度が高くなります。この場合は給湯栓をさらに開けて湯量を多くするか、水と混合してお使いください。

給湯温度を調節するときの注意

ご注意ください

- 給湯温度を高い温度に調節するときは、熱いお湯にご注意ください。台所リモコン(138-0058型)、浴室リモコン(138-0059型)をお使いの場合、50°C以上に給湯温度を設定するとチャイムが鳴り、音声ガイドが“熱い温度にセットされました。注意してください。”と2回お知らせします。

お願い

- 55°C以下の温度でシャワーや給湯を使っているときは、やけど防止のため60°C以上には設定できません。60°C以上に設定しようとすると“ビビビビ”と警告音が鳴って受け付けません。設定したいときは、いったん出湯を止めてから行ってください。また、設定するときは他の場所で給湯が使われていないか、よくご確認ください。
- 給湯温度を70°C以上の高温にしたときは、スイッチを長押し(2秒以上)してください。やけど防止のため、普通に押すだけでは、60°Cまでしか設定できません。
- 通常、給湯温度は運転スイッチを「切」にしても記憶されていますが、給湯温度を60°C以上に設定したときはやけど等の危険防止のため、再度運転スイッチを入れたとき自動的に55°Cにセットされます。
- はじめてお使いのときや停電時、電源プラグを抜いた場合など、一度通電が止まって再通電したときは、給湯温度表示が42°Cになります。再度セットし直してください。



- 優先を切替えたとき、切替え前の給湯温度が60°C以上だった場合、自動的に55°Cにセットし直されます。台所リモコン(138-0058型)、浴室リモコン(138-0059型)をお使いの場合はチャイムが鳴り、音声ガイドが“熱い温度にセットされました。注意してください。”と2回お知らせします。
- 別売の増設リモコン(138-0057型)を設置している場合
 - ・台所リモコンが優先のときは、増設リモコンも優先があります。
 - ・増設リモコンと台所リモコンは連動しています。増設リモコンの運転スイッチを「入」にすると、増設リモコンと台所リモコンに優先ランプが点灯し、台所リモコンでも給湯温度を設定できます。給湯温度は設定したリモコン側の温度になります。

浴槽にお湯張りをするには

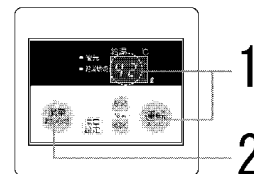
台所リモコン [138-0055型]、増設リモコン [138-0057型] をご使用の場合

■湯量おしらせ機能について

[138-0055, 0057型]

設定した湯量になると、台所リモコンのプザーが約10秒鳴ってお湯が張られたことをお知らせします。お湯は自動的に止まりませんので給湯栓を閉じてください。

■湯量おしらせ機能を使ってお湯はりする



<p>1 運転スイッチを「入」にします</p> <p>表示 給湯温度を表示します。</p>	<p>2 湯量おしらせランプの点灯を確認します</p> <p>消灯している場合は、湯量おしらせスイッチを押して点灯させます。</p>	<p>3 おふろの栓をして、給湯栓を開けます</p> <p>点灯 給湯燃焼ランプが点灯します。</p>	<p>4 台所リモコンのプザーが鳴ったら給湯栓を閉じます</p> <p>プザーが鳴り、湯量おしらせランプが点滅したら、給湯栓を閉じます。</p> <p>消灯 給湯燃焼ランプが消灯します。</p>
--	---	--	--

使いかた

湯量おしらせ機能を解除するには

この機能を使用しない場合は、湯量おしらせスイッチを押して、湯量おしらせランプを消灯させてください。

注意 ●入浴するときは十分かきまぜ、手で温度を確認してから入浴する。やけどのおそれがあります。

お願い

- 湯量おしらせ機能を使うときは、給湯栓のみ開け、水と混ぜないでお湯張りしてください。
- 湯量おしらせ機能を使ってお湯張り中に台所など他の場所でお湯を使うと、他に使った量だけ浴槽へのお湯張りが減りますので気をつけてください。(たとえば、設定湯量が180ℓのとき、台所で30ℓ使うと、浴槽に150ℓ入れたところでプザーが鳴ります。)
- お湯張り完了のプザーが鳴る前に、次のことを行った場合、湯量カウン트가初めから行われ浴槽からあふれることがありますのでご注意ください。
 - ①湯量おしらせ機能を使ってお湯張り中に一度すべての給湯栓を閉じたあと、再度給湯栓を開けて続けてお湯張りしたとき。
 - ②運転スイッチを一度「切」にして、再度「入」にしたとき。
- お湯張り中に優先を切替えるとお湯の温度が変わります。お湯張り中には優先を切替えないでください。
- サーモスタット付き混合水栓をお使いの場合、リモコンの設定温度より低い温度に水栓の温度を設定すると、水が混合されて設定湯量より多くお湯張りしますので、浴槽からあふれることがあります。サーモスタット付き混合水栓で設定する温度は、リモコンで設定された温度以上でご利用ください。また、お湯張り終了後は、サーモスタット付混合水栓の設定温度を通常使用している温度に下げてください。

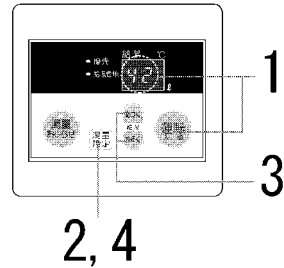


浴槽にお湯張りをするには

台所リモコン [138-0055 型]，増設リモコン [138-0057 型] をご使用の場合

■湯量（お湯張り量）の設定

湯量（お湯張り量）は工場出荷時、180ℓに設定されていますが、お好みで設定することができます。



<p>1 運転スイッチを「入」にします</p> <p>表示</p> <p>給湯温度</p> <p>給湯温度を表示します。</p>	<p>2 湯量設定スイッチを押します</p> <p>点滅</p> <p>湯量</p> <p>湯量が点滅します。</p>	<p>3 湯量を調節します</p> <p>湯量が増えます</p> <p>湯量が減ります</p> <p>リモコンには下1桁の“0”が表示されません。 例) 200ℓ → 20</p> <p>湯量は以下の16段階から選べます。</p> <table border="1"> <tr> <td>表示</td> <td>5</td> <td>12</td> <td>14</td> <td>16</td> <td>18</td> <td>20</td> <td>22</td> <td>24</td> </tr> <tr> <td>設定</td> <td>50ℓ</td> <td>120ℓ</td> <td>140ℓ</td> <td>160ℓ</td> <td>180ℓ</td> <td>200ℓ</td> <td>220ℓ</td> <td>240ℓ</td> </tr> <tr> <td>表示</td> <td>26</td> <td>28</td> <td>30</td> <td>32</td> <td>34</td> <td>36</td> <td>40</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>設定</td> <td>260ℓ</td> <td>280ℓ</td> <td>300ℓ</td> <td>320ℓ</td> <td>340ℓ</td> <td>360ℓ</td> <td>400ℓ</td> <td>500ℓ</td> </tr> </table> <p>工場出荷時には180ℓに設定されています。</p>	表示	5	12	14	16	18	20	22	24	設定	50ℓ	120ℓ	140ℓ	160ℓ	180ℓ	200ℓ	220ℓ	240ℓ	表示	26	28	30	32	34	36	40	50	設定	260ℓ	280ℓ	300ℓ	320ℓ	340ℓ	360ℓ	400ℓ	500ℓ	<p>4 湯量設定スイッチを押します</p> <p>表示</p> <p>給湯温度</p> <p>設定が終了して、給湯温度が表示します。</p> <p>湯量設定スイッチを押しなくても、約5秒たつと設定が終了して、給湯温度を表示します。</p>
表示	5	12	14	16	18	20	22	24																															
設定	50ℓ	120ℓ	140ℓ	160ℓ	180ℓ	200ℓ	220ℓ	240ℓ																															
表示	26	28	30	32	34	36	40	50																															
設定	260ℓ	280ℓ	300ℓ	320ℓ	340ℓ	360ℓ	400ℓ	500ℓ																															

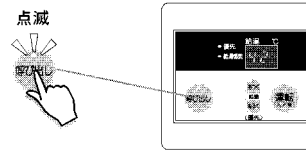
- お願い**
- 浴槽の種類によっては、あまり多めに設定するとあふれることがあります。初めは工場出荷時の180ℓでお湯張りし、実際の湯量を確認してから増減することをお勧めします。
 - 湯量（お湯張り量）は、運転スイッチを「切」にしても記憶されていますが、停電や電源プラグを抜いた後、再通电したときは、180ℓになりますので、再設定してお使いください。

浴室から人を呼ぶ（呼び出しスイッチ）

浴室リモコンの呼び出しスイッチを押すと、台所リモコンでチャイムを鳴らして知らせます。

浴室リモコン [138-0056 型] の場合

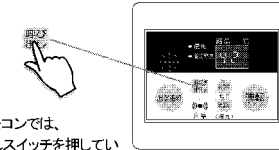
呼び出しスイッチを押します



呼び出しランプが5秒間点滅します。台所リモコンでは“ピーピー……”と鳴ってお知らせします。

浴室リモコン [138-0059 型] の場合

呼び出しスイッチを押します



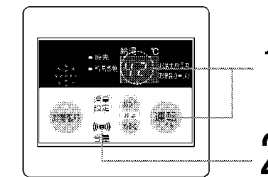
浴室リモコンでは、呼び出しスイッチを押している間チャイムが鳴ります。台所リモコンではチャイムが鳴り、“おふろで呼んでいます”と2回鳴ってお知らせします。

- メモ**
- 運転スイッチの「入」/「切」に関係なく操作できます。
 - インターホンの機能は付いていません。
 - 浴室リモコンと台所リモコンを両方取り付けていない場合、浴室からの呼び出しは使えません。

チャイムや音声ガイドの音量を調節する

音声ガイドの機能が付いているリモコン (138-0058, 0059型) をお使いの場合は、チャイムや音声ガイドの音量を大きくしたり、小さくしたり、無音にしたりすることができます。それぞれのリモコンで、別々に設定できますので、お好みに合わせて調節してください。

<p>1 運転スイッチを「入」にします</p> <p>表示</p> <p>給湯温度</p> <p>給湯温度を表示します。</p>	<p>2 音量スイッチを押します</p> <p>「大」「中」「小」「無音」の4段階から選べます。音量スイッチを1回押すごとに次のように設定できます。</p> <p>→ 大 → 中 → 小 → 無音</p>
---	---



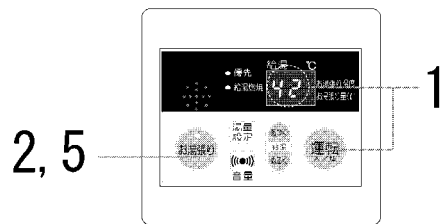
※図は、138-0058型を示しますが、138-0059型も同じ操作方法です。

- メモ**
- 設定した音量は、運転スイッチを「切」にしても記憶されています。
 - 音量を「無音」にすると、音声ガイドは流れませんが、浴室リモコンで呼び出しスイッチが押されたときには、台所リモコンの呼び出し音声は「大」で流れます。
 - 台所リモコンの呼び出し音声の音量、およびスイッチ操作時の“ピッ”という音の音量は調節できません。

浴槽にお湯張りをするには

台所リモコン〔138-0058型〕、浴室リモコン〔138-0059型〕をご使用の場合

■お湯張り機能を使ってお湯張りする



<p>1 運転スイッチを「入」にします</p> <p>表示 給湯温度を表示します。</p>	<p>2 お湯張りスイッチを押します</p> <p>点灯 お湯張りランプが点灯します。チャイムが鳴り、音声ガイドが2回鳴ります。“お湯張りを始めます。おふろの栓をしてから、蛇口を開けてください。”</p>	<p>3 おふろの栓をして、給湯栓を開けます</p> <p>点灯 給湯燃焼ランプが点灯します。</p>
--	---	--

注意 ●入浴するときは十分かきまぜ、手で温度を確認してから入浴する。やけどのおそれがあります。

- お願い**
- お湯張り機能を使うときは、給湯栓のみ開け、水と混ぜないでお湯張りしてください。
 - お湯張り機能を使ってお湯張り中に台所など他の場所でお湯を使うと、他で使った量だけ浴槽へのお湯張り量が減りますので気をつけてください。(たとえば、設定湯量が180ℓのとき、台所で30ℓ使うと、浴槽に150ℓ入れればとチャイムと音声ガイドがお知らせします。)
 - お湯張り中には優先の切替え、温度の変更ができません。警告音が鳴り、“お湯張りをしています。”と2回お知らせして受け付けません。

- XE**
- サーモスタット付き混合水栓をお使いの場合、リモコンの設定温度より低い温度に水栓の温度を設定すると、水が混合されて設定湯量より多くお湯張りしますので、浴槽からあふれることがあります。サーモスタット付き混合水栓で設定する温度は、リモコンで設定された温度以上でご使用ください。また、お湯張り終了後は、サーモスタット付混合水栓の設定温度を通常使用している温度に下げてください。

■お湯張り機能について〔138-0058, 0059型〕

浴槽にお湯張りをするときは、お湯張り機能を使うとお湯の入れすぎがなくて便利です。設定した湯量になると自動的に出湯を停止し、台所リモコン、浴室リモコンの両方でチャイムと音声ガイドがお知らせします。

お湯張りを途中で止めたいときは

給湯栓を閉じてから、お湯張りスイッチを押してお湯張りランプを消灯させます。

お湯張り中に停電があったときは

水が流れたままになります。給湯栓を閉じて、浴槽を空の状態にしてから、お湯張りをやり直してください。

4 音声ガイドが鳴ったら給湯栓を閉じます



設定したお湯張り量に達すると、自動的にお湯が止まります。お湯張りランプが点滅して、音声ガイドが2回流れます。“おふろに入れます。蛇口を閉めてから、お湯張りスイッチを押してください。”



5 お湯張りスイッチを押します



お湯張りランプが消灯します。

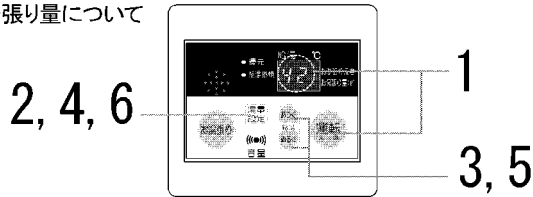
- お願い**
- お湯張りが終わった後は早めに給湯栓を閉じてから、お湯張りスイッチを押してください。給湯栓を閉じるまで他の給湯栓を開けてもお湯はでません。
 - お湯張り機能を使ってお湯張りした後、給湯栓を閉じる前にお湯張りスイッチを押すと、給湯栓から水が流れ、その後自動的に止まります。チャイムが鳴り、“蛇口が開いています。蛇口を閉めてから、お湯張りスイッチを押してください。”とお知らせし、リモコンに「CL」を点滅表示します。お湯張りが終わったら、必ず給湯栓を閉じてから、お湯張りスイッチを押してください。
 - リモコンに「CL」が点滅表示されたら、給湯栓を閉じてからお湯張りスイッチを押して解除してください。

- XE**
- お湯張りが終わった後に給湯栓を閉じないと、1分間隔で給湯栓から水(配管内の湯)が出ます。その後チャイムが鳴り、音声ガイドが“蛇口が開いています。蛇口を閉めてから、お湯張りスイッチを押してください。”とお知らせします。そのまま10分以上給湯栓が閉じられないと、リモコンに「CL」が点滅表示されます。「CL」表示になると、給湯栓から水は出なくなり、チャイムや音声ガイドも流れません。
 - 1分間隔で給湯栓から水が出るのは、給湯栓が閉じられたかどうかを機器が確認する動作です。

浴槽にお湯張りをするには

台所リモコン [138-0058 型] , 浴室リモコン [138-0059 型] をご使用の場合

■お湯張り温度、お湯張り量について



1 運転スイッチを「入」にします

表示
給湯温度
給湯温度を表示します。

2 湯量設定スイッチを押します

点滅 点灯
お湯張り温度
お湯張り温度モード表示が点灯し、お湯張り温度が点滅します。

3 お湯張り温度を調節します

温度が上がります → 湯量設定
温度が下がります ← 湯量設定

お湯張り温度は以下の12段階から選べます。

37 38 39 40 41 42
43 44 45 46 47 48 °C

工場出荷時には42°Cに設定されています。

お湯張り温度の目安		
ぬるい	標準	あつい
37°C~39°C	40°C~42°C	43°C~48°C

4 湯量設定スイッチを押します

点滅 点灯
お湯張り量
お湯張り量モード表示が点灯し、お湯張り量が点滅します。

5 お湯張り量を調節します

湯量が増えます → 湯量設定
湯量が減ります ← 湯量設定

リモコンには下1桁の“0”が表示されません。

例) 200ℓ → 20

湯量は以下の16段階から選べます。

表示	5	12	14	16	18	20	22	24
設定	50	120	140	160	180	200	220	240
表示	26	28	30	32	34	36	40	50
設定	260	280	300	320	340	360	400	500

工場出荷時には180ℓに設定されています。

6 湯量設定スイッチを押します

表示
給湯温度
設定が終了して、給湯温度が表示します。

湯量設定スイッチを押さなくても、約5秒たつと設定が終了して、給湯温度を表示します。

- お願い**
- 浴槽の種類によっては、お湯張り量をあまり多めに設定するとあふれることがあります。初めは、工場出荷時の180ℓでお湯張りし、実際の湯量を確認してから増減することをおすすめします。
 - お湯張り温度、湯量は運転スイッチを「切」にしても記憶されていますが、停電や電源プラグを抜いたあとと再通電したときは、お湯張り温度42°C、湯量180ℓになりますので再度設定してお使いください。

故障かな?と思ったら

■お湯の出かた

こんなとき	故障ではありません
給湯栓を開いてもすぐにお湯が出ない	最初に使うときは、機器から給湯栓までの配管内の水が押し出されるまで少し時間がかかります。
夏などぬるいお湯が出ない	給湯栓を十分開いてお湯の量を多くすれば温度は安定します。水温が高いとき、ぬるいお湯を少量出そうとするとお湯の温度が高くなる場合があります。
冬などあついお湯が出ない	お湯の量を少なめにしてお使いください。水温が低いときには、お湯を出しすぎるとあついお湯が出ない場合があります。
給湯栓を絞りすぎて水になった	給湯栓を十分開いてお湯の量を多くすれば温度は安定します。機器から出るお湯の量が、1分間に約3.0ℓ以下になると消火するためです。
お湯が白く濁って見える	水の中の空気が分離して気泡となるためです。ビール・サイダー等の泡と似た現象であり、汚濁とは違って無害なものです。
給湯栓を開けたとき、お湯の量が変わる	湯温を安定させるために自動的に湯量調整をしています。すぐに湯量は安定します。

こんなとき	ここを調べてください
あついお湯が出ない	◎湯温調節は適切ですか? (P.10) ◎ガス栓が全開になっていますか? (P.9)
ぬるいお湯が出ない	◎湯温調節は適切ですか? (P.10) ◎給水口フィルターが詰まっていますか? (P.23) ◎給湯栓が十分開いていますか? (P.9, 10, 12, 15) ◎給水元栓が全開になっていますか? (P.9)
お湯が出ない (運転しない)	◎電源プラグが確実にコンセントに差し込まれていますか? (P.9) ◎停電していませんか? (P.4) ◎ガス栓が全開になっていますか? (P.9) ◎給水元栓が全開になっていますか? (P.9) ◎給水口フィルターが詰まっていますか? (P.23) ◎給湯栓が十分開いていますか? (P.9, 10, 12, 15) ◎断水していませんか? (P.4) ◎凍結していませんか? (P.21)
家中のお湯が出なくなった	◎お湯張り機能を使ってお湯張りしたあとお湯張りスイッチを解除しましたか? (P.16)

上記のことをお調べのうえ、なお異常のあるときはお買い上げの販売店または最寄りの大阪ガスへご連絡ください

それでもわからないときはアフターサービスをお申し付けください

使いかた
故障かな?と思ったら

故障かな?と思ったら

■機器本体 こんなとき

故障ではありません

- 寒い日に排気口から白い湯気が出る
- 出湯停止後もファンの回転音がする
- 給湯栓を閉じると、給湯側の水抜き栓から一瞬水が漏れる

- 冬に吐く息が白いのと同じように、排気ガス中の水蒸気が白く見えます。
- 再使用時の点火をより早くするためしばらくは回転しています。
- 給湯側の水抜き栓は過圧連し弁をかかえています。水の圧力を逃がすために水が出る場合があります。

そのうち自然に元々の状態に戻ります。

■リモコン こんなとき

故障ではありません

- 給湯温度が60℃までしか上がらない

- 「入」スイッチを長く(2秒以上)押ししてください。

■機器本体 こんなとき

ここを調べてください

- 給湯燃焼ランプが点灯しない(運転しない)
- 給湯燃焼ランプが点滅した
- 運転中に機器から異常音がある

- ◎電源プラグが確実にコンセントに差し込まれていますか? (P. 9)
- ◎停電していませんか? (P. 4)
- ◎ガス栓が全開になっていますか? (P. 9)
- ◎給水元栓が全開になっていますか? (P. 9)
- ◎給水ろフィルターが詰まっていますか? (P. 23)
- ◎給湯栓が十分開いていますか? (P. 9, 10, 12, 15)
- ◎断水していませんか? (P. 4)
- ◎凍結していませんか? (P. 21)
- 上の8項目を確認して※リセット操作をしてください。
- ◎ガス栓が全開になっていますか? (P. 9)
- ◎給水元栓が全開になっていますか? (P. 9)
- ◎給水ろフィルターが詰まっていますか? (P. 23)
- 上の3項目を確認して※リセット操作をしてください。
- 点検依頼をしてください。

それでもわからないときはアフターサービスをお申しつけください

■リモコン こんなとき

ここを調べてください

- 画面表示しない
- 給湯燃焼ランプが点灯しない(運転しない)
- アラーム番号が表示された

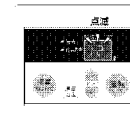
- ◎電源プラグが確実にコンセントに差し込まれていますか? (P. 9)
- ◎停電していませんか? (P. 4)
- ◎電源プラグが確実にコンセントに差し込まれていますか? (P. 9)
- ◎停電していませんか? (P. 4)
- ◎ガス栓が全開になっていますか? (P. 9)
- ◎給水元栓が全開になっていますか? (P. 9)
- ◎給水ろフィルターが詰まっていますか? (P. 23)
- ◎給湯栓が十分開いていますか? (P. 9, 10, 12, 15)
- ◎断水していませんか? (P. 4)
- ◎凍結していませんか? (P. 21)
- 上の8項目を確認して※リセット操作をしてください。
- アラーム番号を確認してください。 (P. 20)

※リセット操作
 ・別売品のリモコンを付けている場合は、運転スイッチを「切」にし、約5秒後「入」にしてお使いください。
 ・本体操作の場合は、一度給湯栓を閉じ、約5秒後に再度給湯栓を開けてください。

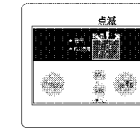
■リモコンにアラーム番号が出たとき

不具合が生じたとき、その原因をアラーム番号でお知らせします。原因に応じて表示部にアラーム番号が表示点滅し自動的に運転を停止します。アラーム番号が表示点滅したときは、お買い上げの販売店または最寄りの大阪ガスへご連絡ください。その際は、表示されているアラーム番号もお知らせください。

例: 図のようにアラーム番号が点滅してお知らせします。



台所リモコン
[138-0055型]



浴室リモコン
[138-0056型]

本体表示	アラーム番号	原因	処置
燃焼ランプ1回点滅	701 711	制御基板異常のため	↓ それでもアラーム番号がでるときは、修理を依頼してください。
	031	ガス種選択異常	
燃焼ランプ3回点滅	111 121	火がつかないときや、使用中に火が消えてしまったため	
	510 511	ガス回路の故障のため	
	721	燃焼系の故障のため	
燃焼ランプ4回点滅	611	送風機の故障のため	
	311	温度検出器の故障のため	
燃焼ランプ2回点滅	321	温度検出器の故障のため	
	651	水回路の故障のため	
	741 751	通信異常	
燃焼ランプ5回点滅	101	燃焼異常が発生したため、燃焼異常検知装置が作動した。	機器の使用はできませんが、十分な能力が出ない状態ですので、なるべく早く修理を依頼してください。
燃焼ランプ2回点滅	CL	お湯張り終了後、解除されていません	給湯栓を閉じて、お湯張りスイッチを押ししてください。(→P.16参照)
燃焼ランプ5回点滅	011	1時間以上、連続燃焼したため	給湯栓を閉じてください。

※アラームの本体表示
 リモコンを取付けないで使われている場合に異常がおきたときは機器内部の制御基板上のランプでアラームの表示をします。

■こんな場合には安全装置が働きます。()はアラーム番号

- 寒いとき、機器の電気ヒーターが働き機器内の凍結を予防します。・・・凍結予防装置
- バーナーの炎が消えた場合にガスを止めます。(121)・・・立消え安全装置
- 給水されていないのに燃焼している場合にガスを止めます。(721)・・・残火安全装置
- 機器の温度が異常に上昇した場合にガスを止めます。・・・過熱防止装置
- 機器内の水圧が異常に上昇した場合に機器の破損を防止します。・・・過圧防止安全装置

故障かな?と思ったら

冬期の凍結予防をするには

■凍結予防装置について 通常の寒さのとき(有風5m/s、外気温-15℃程度まで)

この機器には、気温が下がってくると自動的に機器内を保温する凍結予防ヒーターがついています。そのため外気温-15℃程度までは、機器の電源プラグをコンセントに入れた状態にしておけば、機器内の凍結は予防できます。これらの装置は、運転スイッチの「入」/「切」に関係なく作動します。

お願い ●凍結予防装置は電源プラグを抜いたり、ブレーカーを切ると作動しませんのでご注意ください。
●機器内の凍結は予防できますが、配管は凍結することがありますので、配管は必ず保温材で被覆してください。

寒波などで特に寒くなりそうときは、以下のいずれかの方法で凍結予防をしてください。

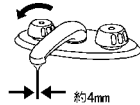
1. 給湯栓を開いて水を流す方法 2. 機器の水を抜く方法

1. 給湯栓を開いて水を流す方法

この方法は機器本体だけでなく、給水・給湯配管やバルブ類および給湯栓の凍結予防に有効です。

1 別売のリモコンを取り付けている場合は運転スイッチを押してリモコンを「切」にします。リモコンがない場合は電源プラグを抜きます。

3 浴室の給湯栓を開き、1分間に400cc(牛乳びん2本ぐらい)の水を流し続けます。流量が不安定なことがありますので、念のため30分ぐらい後にもう一度流量を確認してください。



2 ガス栓を閉じます。

お願い ●次の朝、お使いになるときは、給湯栓を開けて水が出ることを確認してから、運転スイッチを「入」にしてください。

メモ ●「1. 給湯栓を開いて水を流す方法」で凍結予防をしているときは、家の人に凍結予防のために水を流していることをお知らせください。水を止めると凍結します。

2. 機器の水を抜く方法

入居前や長期不在で家の電気ブレーカーを「切」にする場合や、電源プラグを抜く必要がある場合には、この方法で機器内の水を排水し凍結予防をします。排水後は、次にお使いになるまでそのまましておいてください。

注意 ●使用後すぐに水抜きをしない。やけどのおそれがあります。
機器やお湯が高温になっていますので冷えてから行ってください。

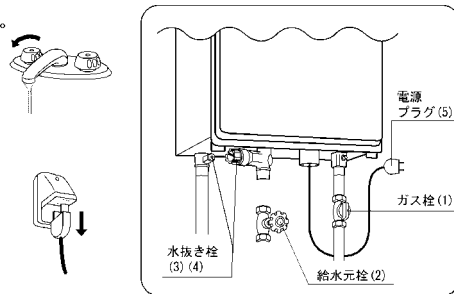
1 ガス栓(1)、給水元栓(2)を閉じます。

2 すべての給湯栓を全開にします。

3 水抜き栓(3)(4)を外して、水が出ることを確認します。

4 必ず電源プラグ(5)を抜きます。

電源プラグを抜き忘れずと機器の故障の原因となります。



■再使用するとき 機器内の水を排水したあと、しばらくして再度使用するときは次の操作をしてください。

1 水抜き栓(3)(4)およびすべての給湯栓を閉じます。

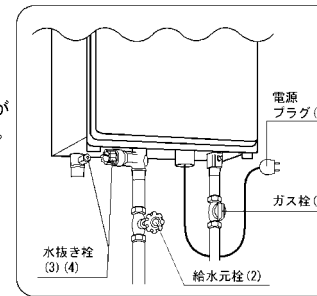


2 給水元栓(2)を開けた後、すべての給湯栓を開けて水が出ることを確認します。確認後、給湯栓を閉じてください。機器や配管より水漏れがないか確認してください。

3 電源プラグ(5)をコンセントに差し込みます。



4 ガス栓(1)を開けます。



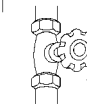
■凍結してしまったとき 凍結したときは給湯栓を開けても水は出ません。解凍するまで待って、次の操作により水が出ることを確認してから運転してください。

1 ガス栓(1)を閉じます。



4 ときどき給湯栓を開けて、給湯栓から水が出ることを確認します。水が出てくれれば使用できます。通水したら、機器および配管から水漏れがないか確認してください。

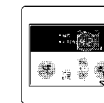
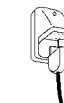
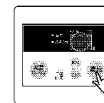
2 給水元栓(2)を閉じます。配管が破損しているとき、解凍したときの水漏れの原因になります。



5 ガス栓(1)を開けます。



3 別売品のリモコンを取り付けている場合は、運転スイッチを「切」にします。リモコンを取り付けていない場合は、電源プラグを抜きます。



お願い ●床などに水が流れては不都合な場所で水抜きをするときは、あらかじめ容器を用意して水を受けてください。
●水抜きをした後に再使用するときは、水抜き栓を元通り確実に閉じてください。閉じかたが不十分だったり閉じ忘れたりすると、そこから水漏れします。
●取扱説明書に従った凍結予防の処置をせずに機器や配管が破損すると、高額の修理費用(有料)がかかる場合があります。
●給水・給湯配管が凍結すると配管や給湯栓が破損することがあります。解凍後は、水道メーターを見るなど水漏れしていないことを確認してください。

長くお使いいただくために

点検のポイント・お手入れのしかた

■点検のポイント 次の6つのポイントで点検してください。

- 1 機器および配管から水漏れはありますか？
水漏れは、機器の故障だけでなくお隣や階下の方にも多大な迷惑を及ぼします。
- 2 機器および配管からガスの臭いがしませんか？
- 3 運転中に機器から異常音がしませんか？
- 4 機器の外観に異常は見られませんか？
- 5 機器のまわり、および排気口のそばに燃えやすいものはありますか？
- 6 給気口・排気口への積雪や、屋根から落ちた雪により排気口が塞がれていませんか？
給気口・排気口が塞がれていると、機器が不完全燃焼することがあります。
積雪時には給気口・排気口の点検、除雪を行ってください。屋根から落ちた雪が給気口・排気口をふさぐおそれがあるときはお買い上げの販売店または、最寄りの大阪ガスへご連絡ください。



■お手入れのしかた

機器本体およびリモコンの掃除

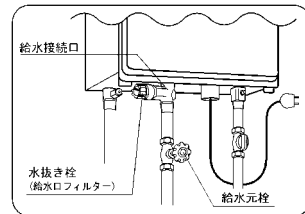
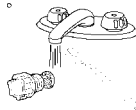
- 汚れは、水にぬらしたやわらかい布をかたく絞って、軽くふき取ってください。
- シンナー・ベンジンなどは使わないでください。変形する場合があります。



給水口フィルターの掃除

給水口フィルターがつまるとお湯の出が悪くなったり、お湯にならない場合があります。そのときは、次の要領で給水口フィルターを掃除してください。(特に、新築や井戸ポンプの場合)

- 1 給水元栓を閉じます。
- 2 給水接続口にある水抜き栓 (給水口フィルター)を外します。
- 3 歯ブラシなどで洗います。
- 4 元のように取り付けます。



■定期点検のおすすめ(有料)

- ご使用上支障がない場合でも、不慮の事故を防ぎ、安心してより長くご使用いただくために、年一回程度の定期点検をおすすめします。お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへご相談ください。

⚠警告 ●フロントカバーを外したり、リモコンを分解したりしない。



●ご注意ください

- 機器本体のお手入れは、ガス栓を閉じ、電源プラグを抜き、機器が冷えてから行ってください。また、けがなどしないよう、指先には十分注意してください。
- 給湯栓の先端に泡沫器が内蔵されているものについては、ときどき内部のフィルターを掃除してください。
- 台所リモコンには水をかけないようご注意ください。リモコンの内部には電気部品が入っていますので故障の原因となります。また、浴室リモコンは防水タイプですが、故意に水をかけないでください。

●お願い

- 洗剤およびシンナー、ベンジンなどでは拭かないでください。
- 水圧の低い地域では泡沫器は使用しないでください。
- 給水口フィルターを外すと水が出ます。水が流れては不都合な場所では、あらかじめ容器を用意して水を受けてください。

アフターサービスについて

サービスを依頼されるときは

- P.18～P.20の「故障かな?と思ったら」の項を確認ください。それでも直らない場合、あるいはご不明の場合には、ご自分で修理なさらなくて、お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへご連絡ください。
- アフターサービスをお申しつけの際は、次のことをお知らせください。

- (1) 氏名・住所・電話番号・道順(付近の目印等)
- (2) 品名:(例)133-8150型、ガスの種類:(例)13A

(N) 133-8150
大阪ガス株式会社

(上のようラベルを機器前面に貼付してあります)

- (3) 現象(故障または異常内容、アラーム番号などできるだけ詳しく)
- (4) 訪問ご希望日

保証について

- このガス給湯器には保証書がついています。
- 必ず「販売店名・購入日」等の記入をお確かめになり、保証内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
- 保証書を紛失されると、無料修理期間であっても修理費をいただくことがありますので、大切に保管してください。
- 保証期間経過後の故障修理については、修理により製品の機能が維持できる場合は、ご希望により有料で修理いたします。

補修用性能部品の最低保有期間について

- この製品の補修用性能部品(機能維持のために必要な部品)の最低保有期間は製造打切り後10年です。ただし、最低保有期間経過後であっても補修用性能部品の在庫がある場合は有料で修理いたします。

転居または機器を移設される場合

- ガスの種類が、異なる地域へ転居される場合は、調整、改造の必要があります。お買い上げの販売店、または転居先のガス会社へご相談ください。
- 増改築などのため機器を移設される場合、工事には専門の技術が必要となりますので、必ずお買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへご連絡ください。
- 設置場所の選定にあたっては、運転音や振動が大きく伝わらないような場所をお選びください。また、機器本体の排気口からの温風や運転音が隣家の迷惑にならないような場所を選ぶなど、ご配慮ください。
- 転居、移設ともなう調整や工事の費用は、保証期間内でも有料となります。

アフターサービス等についてわからないとき

- お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへお問い合わせください。

長期間使用しない場合

- 長時間使用しない場合は次の操作をしてください。

- (1) ガス栓を閉じます。
- (2) 給水元栓を閉じます。
- (3) 機器の水抜きを行います。(水抜き方法は、P.21を参照してください)
- (4) 電源プラグを抜きます。

長くお使いいただくために

仕様一覧

■仕様表

項目	内容		
品名	133-8150型, 133-8152型 133-8154型, 133-8155型	133-8140型, 133-8142型 133-8144型, 133-8145型	133-8130型, 133-8132型 133-8134型, 133-8135型
型式名	GS-164W, GS-164T GS-164Y, GS-164B	GS-204W-0G, GS-204T-0G GS-204Y-0G, GS-204B-0G	GS-244W, GS-244T GS-244Y, GS-244B
外形寸法 (mm) / 質量 (kg)	幅350×奥行170×高さ520/14 幅350×奥行170×高さ520/16		
給湯方式	先止め式		
設置方式	W: 屋外壁掛設置形 PS設置形標準設置	T: PS扉内設置形 前方排気延長	Y: PS設置形 アルコープ設置
点火方式	AC100V連続放電式 (ダイレクト着火) 150~500kPa (1.5~5.0kgf/cm ²)		
水圧最低作動水圧	10kPa (0.1kgf/cm ²)		
接続ガス	15A (R1/2) ネオジ	20A (R3/4) ネオジ	
給湯	15A (R1/2) ネオジ	20A (R3/4) ネオジ	
電源	AC100V (50/60Hz)		
リモコン側無負荷時	24V以下 4W		
消費電力使用時	W・Y: 48W T, B: 60W	W・Y: 50W T, B: 65W	W・Y: 65W T, B: 75W
凍結予防時	84W		
電源コード	VCT (2心) 機外長2m		
安全装置	水流検知装置 (水流センサー) 凍結予防装置 (電気ヒーター) 立消え安全装置 (フレームロッド方式) 送風検知装置 (回転検知方式) 残火安全装置 (バイメタル式) 過圧防止安全装置 (スプリング式) 過電流保護装置 (電源ヒューズ) 過熱防止装置 (温度ヒューズ) 誘導雷保護装置 (サージアブソーバー) 漏電安全装置 (漏電リレー)		
付属品	取扱説明書・工事説明書・事業所一覧・保証書		
別売品	台所リモコン・浴室リモコン・増設リモコン		

■能力表 (16号)

品名	使用ガス 使用ガスグループ	1時間あたりのガス消費量 kW [kcal/h]	出湯能力 (最大時) (ℓ/min)		ガス接続
			水温+25°C上昇	水温+40°C上昇	
133-8150型 133-8152型 133-8154型 133-8155型	都市ガス	13A	34.9 [30,000]	16.0	15A (R1/2)
	LPGガス		35.0 [2,50kg/h]	16.0	

■能力表 (20号)

品名	使用ガス 使用ガスグループ	1時間あたりのガス消費量 kW [kcal/h]	出湯能力 (最大時) (ℓ/min)		ガス接続
			水温+25°C上昇	水温+40°C上昇	
133-8140型 133-8142型 133-8144型 133-8145型	都市ガス	13A	44.0 [37,800]	20.0	20A (R3/4)
	LPGガス		44.0 [3,14kg/h]	20.0	

■能力表 (24号)

品名	使用ガス 使用ガスグループ	1時間あたりのガス消費量 kW [kcal/h]	出湯能力 (最大時) (ℓ/min)		ガス接続
			水温+25°C上昇	水温+40°C上昇	
133-8130型 133-8132型 133-8134型 133-8135型	都市ガス	13A	52.3 [45,000]	24.0	20A (R3/4)
	LPGガス		52.3 [3,75kg/h]	24.0	

◎ガス: JISに規定する標準ガス・標準圧力のとき。

◎出湯能力は、水圧200kPa [2.0kgf/cm²] のときで、温度を高め設定し、水と混合させることにより可能となる最大流量の計算値をいいます。

◎本仕様は改良のため、お知らせせずに変更することがあります。

長くお使いいただくために